

アカザカズラに発生する黒点病は雨よけ栽培で抑制できる					
[要約] 露地栽培のアカザカズラにカビの一種であるアスペルギルス ニガーによる黒点病(仮称)が発生し、問題になっている。本病に対する登録薬剤はないが、雨よけ栽培で発生を抑制できる。					
上場営農センター・研究部・畜産果樹研究担当				連絡先	0955-82-1930 uwabaeinousenta@pref.saga.lg.jp
部会名	上場営農	専門	病害虫	対象	地域特産野菜(アカザカズラ)

#### [背景・ねらい]

アカザカズラはツルムラサキ科の多年草で、一般にはオカワカメと称されている。ミネラルや機能性成分を多く含む野菜として注目されており、最近上場地域での栽培が増加している。しかし、5月以降に露地栽培のアカザカズラ葉に黒点症状(病斑直径1~5mm)が多発して問題になっている。発病葉の商品価値は大きく低下するため、経済的被害は深刻である。そこで、原因菌を同定するとともに、防除法を見い出す。

#### [成果の内容]

1. 黒点症状部からはカビが分離され、無傷接種で黒点症状を引き起こす(図3)。
2. 形態的特徴(図4)および分子系統解析(データ略)の結果から、本菌はアスペルギルス ニガーであると判断される。本病は高温域(30~35℃)ほど激しく発症する(図5)。
3. 本菌によるアカザカズラの病害はこれまでに報告がないことから、病名をアカザカズラ黒点病としたい。
4. 露地栽培では本病はすべての葉に発生し、甚大な被害を引き起こすが、降雨を遮断した雨よけ栽培では発生しない(図6)。

#### [成果の活用面・留意点]

1. 本病に対する登録薬剤はないことから、アカザカズラを栽培する場合には雨よけ栽培する。

[具体的なデータ]



図1 アカザカズラの販売状況  
(唐津市内のスーパーマーケット量販店)

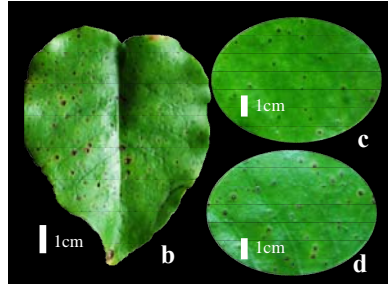


図2 黒点病が発生すると商品  
価値が大きく低下する

※ a: 露地栽培の様子  
b: 葉の黒点症状 (c: 表側, d: 裏側)

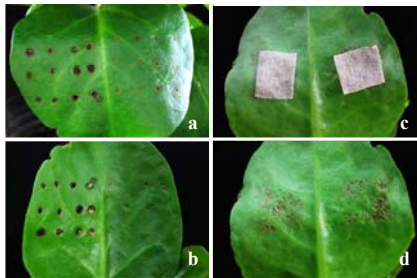


図3 無傷接種で黒点症状を引き起こす

※ a, b: 有傷接種 (a: 葉表側, b: 葉裏側)  
c, d: 無傷接種 (c: 接種の様子, d: 発病状況)

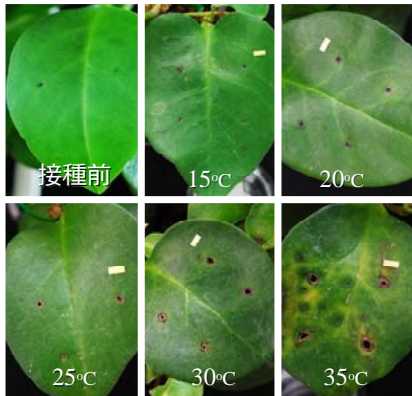
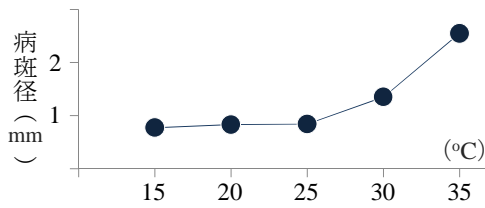


図5 高温域ほど激しく発症する

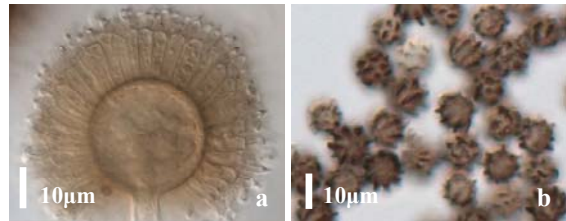


図4 アスペルギルス ニガー特有の黒褐色  
で球状の分生子頭, 球形棘状の分生子

※ a: 分生子頭 b: 分生子



図6 雨よけ栽培で黒点病は発生しない

[その他]

研究課題名：新農薬効果薬害試験

予算区分：県単

研究期間：2013～2014 年度

研究担当者：正司和之，古川智博，松尾洋一